

ZERO  
ゼロから学ぶ!  
ENGLISH

# はじめての ビジネス英語

BUSINESS



UNIT 1



## はじめに

『ゼロから学ぶ！はじめてのビジネス英語』は、ビジネス英語の経験がゼロというみなさんをその入口へご案内する通信講座です。

この講座では、実際に起こった状況や場面を基に、ビジネスに役立つ、「これだけは知っておきたい」表現だけを取り上げました。聞き取る英語はできるだけ自然に近く、話す英語はできるだけやさしくした、実戦型アプローチの学習テキストです。旧来の学校英語のような文法からの理解ではなく、英語を音のかたまりとして聞き、音のかたまりとして話すことを習慣づけることが、最大の目標になっています。

また、英語を好きになっていただくこともこの講座の目的です。海外旅行をした、良い英語の先生に巡りあった、英語の歌詞が気に入ったなど、英語が楽しくなるきっかけはさまざまです。『ゼロから学ぶ！はじめてのビジネス英語』もそうしたきっかけのひとつになれば幸いです。

そのために、学習ばかりではということから、英語や英語圏の文化に関する話題や簡単なクイズの、息抜きのページが用意されています。肩の力を抜いて、気楽に読めるページです。雑誌でも読むように、楽しみながらページを追いつつ、英語の面白さを見つけてみてください。

# UNIT 1

## ビジネス英語のファーストステップ

はじめに ..... 3

**WEEK 1 ▶** 国際電話がかかってきたら ..... 6  
**International Telephone Call**

**WEEK 2 ▶** 訪問者の取次ぎ ..... 32  
**Receiving Visitors**

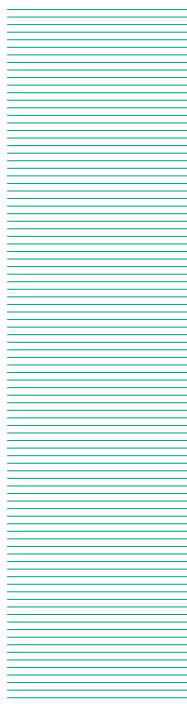
**WEEK 3 ▶** ホテルに出迎えに行くには ..... 60  
**Meeting Visitors at the Hotel**

**WEEK 4 ▶** マンスリーテストを解こう ..... 88  
**Monthly Test**



## **International Telephone Call**

国際電話がかかってきたら



# International Telephone Call

国際電話がかかってきたら

**Q** 入社して数ヶ月。会社での仕事にもひと通り慣れたある日のこと。電話を取ったら“Hello...”といきなり英語！  
さてこんな時、あなたならどうします？

1



と、英語のできる人を呼ぶ。

2



と、冷汗をかきながらも用件を聞く。

3



と、誰あての電話かを確認してから取り次ぐ。

それでは、電話の向こうの相手の対応を見てみましょう

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

# A

そのとき相手はどう思っているのでしょうか？

1

「何を言っているのだろうか？  
電話番号を間違えてしまった  
のだろうか。」



2

「早くしてくれないと  
通話料金が高くなる。」





3

取り次ぐなら、これで十分。



電話での英語は難しいと思いませんか？

しかし、自分にかかってきたのであれば「取り次ぐ」だけで十分。そのためには、まず

『誰と話したいのか』

を聞くこと。これは日本人の名前なので簡単。そして、できれば

『誰からかかってきたのか』

を聞いて、とにかく英語のできる人に取り次いでしまう。

**とりあえず、これでOK!**

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

---

# POP QUIZ

語彙を増やすための簡単なクイズです

私たちの身の回りにはカタカナ語が数多くありますが、本来の英語とは変わってしまったものがあります。そこで、巷にあふれるカタカナ英語を正しい英語で言ってみましょう。

## Q

1. アパート
2. アルバイト
3. ナイター
4. フレッシュマン
5. ホッチキス
6. クレーム

## A

アパート： **apartment**

**apart** だけでは「離れて」という全く違った意味になってしまいます。面倒でもきちんと **apartment** と言いましょう。

アルバイト： **part-time job**

アルバイトはドイツ語で、英語ではありません。「アルバイトをする」は **work part time** と言います。日本語の「パート」もここから生まれたものです。

**ナイター：night game**

和製英語の代表選手。一見英語らしい恰好をしています、残念ながら通じません。“Let’s go to see a night game.”と誘いましょう。

**フレッシュマン：new employee**

**freshman** と言うと高校や大学の1年生のことで、「新入社員」のことではありません。この他“**He is new on the job.**”も同じ事を表します。

**ホッチキス：stapler**

これは発明者の名前で、道具の名前ではありません。ちなみにホッチキスの針のことは **staple** と言います。

**クレーム：complaint**

日本語で「クレームをつける」というのは **complain** 「苦情を言う」で、**claim** と言うと「何かを強く要求する」と別の意味になってしまいます。

DAY1 はここまでです。いかがでしたか。ウォーミングアップはできましたか。明日から本格的な学習に入ります。

## MAY I HELP YOU?

入社2年目の山田さんがある日電話を取ると、相手は英語で話してきました。



意味がすんなりわかるようになるまでダイアログを繰り返し聞きましょう。

ダイアログ  CD 1-1

Yamada: はい、TTIでございます。

Davis: Hello.

Yamada: Hello.

May I help you?

Davis: Yes. This is John Davis.

May I speak to Mr. Sasaki?

Yamada: Mr. John Davis?

Just a moment, please.

佐々木さん、デイスさんからお電話です。

## 訳

- デイビス： もしもし。  
 山田： もしもし。  
           ご用件をお伺いします。  
 デイビス： こちらジョン・デイビスです。  
           佐々木さんはいらっしゃいますか。  
 山田：      ジョン・デイビスさんですね。  
           少々お待ち下さい。



今日のフレーズ

ダイアログの重要フレーズです。覚えましょう。

## PHRASES



CD 1-2

May I help you?

ご用件は？

Just a moment, please.

少々お待ち下さい。



## ↑ 表現チェック

文法的には正しくてもビジネスの場にはふさわしくない表現もあります。適切な表現を身につけましょう。

### ■ “I am Suzuki.”

- 対面のときはこれで結構。  
しかし電話では “**This is Suzuki.**” が普通です。

### ■ “What’s your name?”

- 「あなたの名前は？」とぶっきらぼうに聞こえます。  
電話で相手の名前をたずねるときは “**Who’s calling, please?**” と言いましょう。

### ■ “Who are you?”

- 「あんただれ?」。敵対心見え見えです。  
やはり “**Who’s calling, please?**” です。



## 聞く練習

## LISTEN TO IT

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

1.  CD 1-3

CDを聞いて ( ) の中に単語を入れてください。

Davis: ( )

Yamada: **Hello. May I help you?**

Davis: **Yes. ( ) ( ) John Davis.**


**May I ( ) ( ) Mr. Sasaki?**

Yamada: **Mr. John Davis? Just a moment, please.**

2.  CD 1-4

外国人の名前は聞き取りにくいことがあります。次の3つのうちCDで読まれている方の人名に○をつけてください。

- Hello. This is (Ronald Reagan, Donald Reagan).
- Hello. This is (David Johnston, David Johnson).
- Hello. This is (John Clay, John Gray).

正解は P.16 

1.  CD 1-5

CDがデイビスさんのパートを言います。みなさんは山田さんのパートの一部を英語にして、会話の練習をしましょう。

Davis: Hello.

Yamada: Hello. 「ご用件をお伺いします」

Davis: Yes. This is John Davis.  
May I speak to Mr. Sasaki?

Yamada: Mr. John Davis? 「少々お待ちください」

2.  CD 1-6

今度は山田さんのパートが全部日本語になっています。同じように会話の練習をします。

Davis: Hello.

Yamada: もしもし。ご用件をお伺いします。

Davis: Yes. This is John Davis.  
May I speak to Mr. Sasaki?

Yamada: ジョン・デイビスさんですね。  
少々お待ちください。

## 「聞く練習」の正解

1. Hello, This is, speak to
2. a. Donald Reagan b. David Johnston c. John Gray



英語  
こぼれ話熱い？  
暑い？

初めての海外旅行にはちょっとした失敗はつきもの。ある評論家が何か書いていたのですが、ニューヨークでこんな失敗をしたそうです。

ある日、コーヒーを飲もうとコーヒーショップに入りました。ウエートレスが注文を取りにきたので、日本にいる時と同じつもりで「ホット」と頼みました。すると、そのウエートレスは、げげんそうな顔つきで、“Well! Take off your coat!” 「じゃあ上着を脱ぎなさい」と答えたそうです。

私たちは日本で喫茶店に行くと「ホットひとつ！」などと注文しますが、英語では単に“Coffee, please.” と言えばいいのです。これを“Hot!” と言ったので、「熱いコーヒー」ではなく「店の中が暑い」という意味に取られてしまったわけです。

みなさんも、寒い日に「ホットコーヒー」を飲みに行って、上着を脱ぐハメにならないよう気をつけてください。



## HOLD ON, PLEASE.

山田さんが次に電話を取ったとき、取り次ぐ人が不在でした。



意味がすんなりわかるようになるまでダイアログを繰り返し聞きましょう。

ダイアログ  CD 1-7

**Smith:** Hello.  
I'd like to talk to Mr. Tanaka.

**Yamada:** I'm sorry.  
He's out right now.

**Smith:** Then can I leave a message?

**Yamada:** Yes. Hold on, please.  
すいません、佐々木さん。  
英語の伝言をお願いできますか。

## 訳

- スミス： もしもし。  
田中さんとお話したいのですが。
- 山田： 申し訳ございません。  
ただいま外出しておりますが。
- スミス： では伝言をお願いできますか。
- 山田： ええ、少々お待ちください。



## 今日のフレーズ

ダイアログの重要フレーズです。覚えましょう。

## PHRASES



## CD 1-8

I'd like to talk to... out	…と話したいのですが。 外出中である。
leave a message	伝言を頼む。 (反対は take a message 「伝言をうけたまわる。」)
Hold on, please.	少々お待ちください。 (= Just a moment, please.)



## 表現チェック

ビジネスに適切な表現を身につけましょう。

■ 「外出中です」と言いたいときに “*He's out now.*”

- ➔ これだけでもいいのですが、左の会話のように “**I'm sorry. He's out right now.**” または “**I'm sorry, but he's out right now.**” と言ったほうが丁寧です。

1.  CD 1-9

CD を聞いて ( ) の中に単語を入れてください。

Smith: Hello.  
( ) ( ) ( ) talk to  
Mr. Tanaka.

Yamada: I'm sorry.  
He's out right now.

Smith: Then can I ( ) ( ) ( ) ?

Yamada: Yes. Hold on, please.

2.  CD 1-10

下の今日の予定表を見て、CD を聞き、本人に取り次ぐときは ① Just a moment. を、外出中であることを伝えるときには ② I'm sorry, he's out right now. を選んでください。

佐藤	中山	伊藤	池田	山田	大井
	昼食中		出張中	外出中	

- a. ① Just a moment. ② I'm sorry, he's out right now.  
b. ① Just a moment. ② I'm sorry, he's out right now.  
c. ① Just a moment. ② I'm sorry, he's out right now.

正解は右ページ 

## 話す練習

## SAY IT YOURSELF

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

1.  CD 1-11

CDがスミスさんのパートを言います。みなさんは山田さんのパートの一部を英語にして、会話の練習をしましょう。

**Smith:** Hello. I'd like to talk to Mr. Tanaka.

**Yamada:** I'm sorry. He is 「ただいま外出中です」

**Smith:** Then can I leave a message?

**Yamada:** Yes. 「少々お待ちください」

2.  CD 1-12

今度は山田さんのパートが全部日本語になっています。同じように会話の練習をします。

**Smith:** Hello. I'd like to talk to Mr. Tanaka.

**Yamada:** 申し訳ございません。ただいま外出中なのですが。

**Smith:** Then can I leave a message?

**Yamada:** はい。少々お待ちください。

## 「聞く練習」の正解

1. I'd like to, leave a message

2. a. ②

b. ①

c. ②

<スクリプト>

a. I'd like to talk to Mr. Yamada.

b. I'd like to talk to Mr. Sato.

c. I'd like to talk to Mr. Ikeda.

## 英語 ひとくち メモ



# 英語にあって日本語にない、 日本語にあって英語にない

兄も弟も **brother**、**watch** も **clock** も時計。このように英語と日本語で区別の仕方が違う場合があります。ここではこの他いくつかの例を見てみましょう。

## 水と湯

水は **water**。これは誰でも知っていますね。それではお湯は？ 実は日本語の「お湯」に当たる単語はありません。お湯は **hot water, boiling water** のように **water** を使って表します。コーヒーやカップラーメンを作るためなら **boiling water** と言わないと、ぬるま湯が出てくるときがあります。

## 足と脚

靴を履く部分が **foot**、付け根から足首までが **leg** と言うのは知っているも、日本語では同じなので、つい間違えてしまいがちです。また、「あしが痛い」と言っても外国人には **foot** なのか **leg** なのか区別がつきません。座るといふ行為にしても、英語で **sit down**。たとえば椅子に座ることですが、日本語では単に「座る」といっても、腰掛ける、あぐらをかく、正座するなどいろいろに解せます。

## 首と頭

日本語で「首」と言うと頭まで含むことがあります。英語では **neck** と **head** を区別します。

**He shook his head.** 「彼は首を（横に）振った」

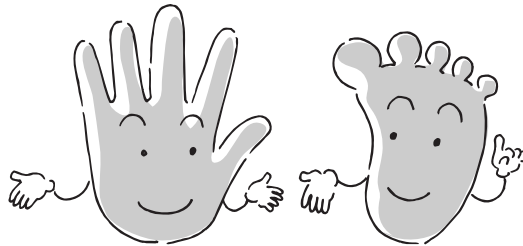
**I have a stiff neck.** 「首がこっています」

もちろん、「彼は首になった」は **He was fired.** と言い、**neck** や **head** とはまったく関係のない表現をします。

また、似たような例で「膝」があります。「膝を曲げる」とときには **knee** ですが、「膝の上に荷物を置く」とときには **lap** を使います。つまり、**knee** は関節の部分、**lap** は脚の付け根から関節までの部分を指しています。

## 指

指は **finger** ですが、通常、親指を除いたものを言います。親指は **thumb**。その他の指はそれぞれ、人差し指が **index finger**、中指が **middle finger**、薬指が **ring finger**、小指が **little finger** です。日本語といちばん違うのは足の指の言い方です。英語では **toe** と言い、**finger** という言葉は使いません。



## HE'S NOT HERE AT THE MOMENT.

## チャレンジコーナー

## GIVE IT A TRY

上司にかかってきた電話を山田さんが取ります。



これまでの表現を少し変えたダイアログを注意して聞いてみましょう。

ダイアログ  CD 1-13

**Peterson:** Hello. This is Bill Peterson speaking.

Could I speak to Mr. Goto?

**Yamada:** He's not here at the moment.

**Peterson:** Well, when do you expect him back?

**Yamada:** In an hour or so.

Can I take a message?

**Peterson:** Yes, please.

**Yamada:** OK. Hold the line, please.



## 理解度チェック

## MATCHING TEST

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

今まで学んだ表現を（ ）の指示に従って変えて言ってください。答えは左ページのダイアログの中から探してください。

1) May I speak to Mr. Goto?

(同じ意味の表現) ➡

2) He's out right now.

(同じ意味の表現) ➡

3) Can I leave a message?

(受け手側の表現) ➡

4) Hold on, please.

(同じ意味の表現) ➡

正解は P.27

CD を聞いて英文をリピートしてください。

## EXPRESSIONS CD 1-14

### ■ **Could I speak to Mr. Goto?** [= **May I speak to Mr. Goto?**]

**May I...?** と同じ意味です。**Can I...?** とも言えます。また、**speak to** (…と話す) の代わりに **speak with** も使います。

**Can I speak with Mr. Goto?** 「後藤さんをお願いします」

### ■ **He's not here at the moment.**

**not here = out**、**at the moment = now** です。

**He's away from his desk at the moment.** と言うと「ただいま席を外しております」という意味になります。

### ■ **When do you expect him back?**

「いつ彼の帰りを期待しますか」つまり「お戻りは何時ごろでしょうか」

**When will he be back?** とも言いますが、**expect** を使った方が上の日本語に近いニュアンスを表します。なお「〇〇時間 [分] 後」と答えるときには、**after** ではなく **in 〇〇 hours/minutes** と言います。

### ■ **Can I take a message?**

**take a message** は **leave a message** とは逆に「伝言を受ける」という意味です。**Shall I take a message?** とも言います。ただしある程度英語が聞けるようになってから使わないと、相手の伝言を正しく受けることができないかもしれませんから、気をつけましょう。

### ■ **Hold the line, please.**

**Hold on, please.** や **Just a moment, please.** と同じです。

## チャレンジコーナー・ダイアログ訳

ピーターソン：もしもし。ビル・ピーターソンと申しますが、  
後藤さんいらっしゃいますか。

山田： 　　ただいま外出しているのですが。

ピーターソン：ええと、お戻りはいつごろでしょうか。

山田： 　　1時間後くらいです。ご伝言をお受けしましょうか。

ピーターソン：はい、お願いします。

山田： 　　では、少々お待ち下さい。



## 「理解度チェック」の正解

- 1) Could I speak to Mr. Goto?
- 2) He's not here at the moment.
- 3) Can I take a message?
- 4) Hold the line, please.



## お役立ち表現

いざという時に役に立つコンパクトな表現を集めてみました。さまざまな場面で使ってみましょう。

### May I help you?

いろいろな場合に役立つ表現です。



SCENE 1 のように電話で使うとき  
「ご用件は？」



手を貸してあげるとき  
「何かお手伝いしましょうか？」



店にお客さんが来たとき  
「いらっしゃいませ。」

## May I?

これだけの簡単な言い方でもいろいろな場合に使えて大変便利です。

タバコを出して  
「タバコを吸ってもいいですか？」



空いている椅子を指して  
「座ってもいいですか？」

パンフレットなどを指差して  
「頂けますか？」



## This is... / I'm...

「私は…です」と言うとき

電話では



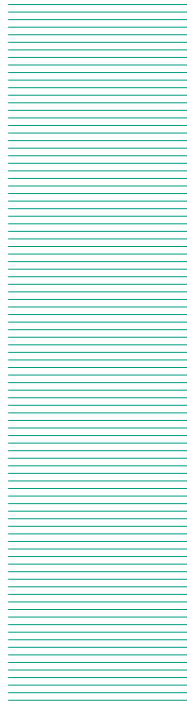
人と面と向かっているときには





## Receiving Visitors

訪問者の取次ぎ



## Receiving Visitors

### 訪問者の取次ぎ

**Q** ある日あなたの上司に受付から電話がありました。  
「ジョン・スミス様が入社にお見えです」

すると上司はあなたに、受付まで迎えに行き3階の会議室に通すように指示しました。

さてこんな時、あなたならどうしますか？

1



待たせてはいけないと思い、  
急いで飛んでいく。



2



アメリカ人は気さくだから  
気軽に声をかける。

3



初対面は日本もアメリカも同じ。  
きちんと礼儀正しく出迎える。

さて相手はどう思っているでしょう

# A

それでは相手の反応を見てみましょう。

1



「上着も着ないで来るなんて、軽く扱われているんじゃないか。それに、何を慌てているんだ。」

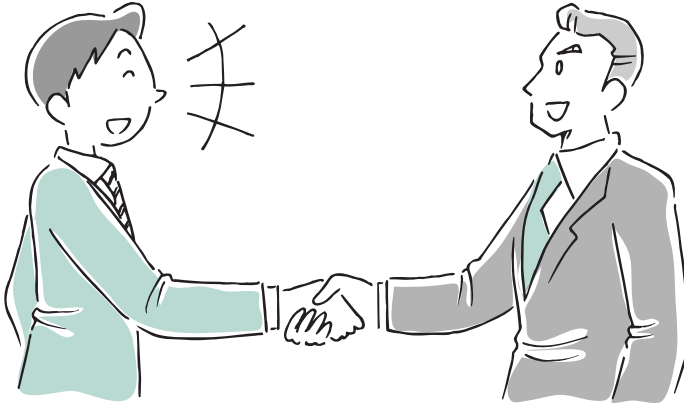
2



「なんてなれなれしいんだ。」

3

「初めまして、よろしく。」  
ビジネスでは初めが肝心



普段気さくな外国人も、ビジネスとなるとプロに徹し、  
礼儀正しく効率的に仕事を進めていきます。

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

---

# POP QUIZ

語彙を増やすための簡単なクイズです

前回にひきつづきカタカナ語の問題です。次のカタカナ語を正しい英語で言ってみましょう。

## Q

1. マンション
2. エンスト
3. ガソリンスタンド
4. コンセント
5. シュークリーム
6. タレント

## A

マンション： **condominium**

**mansion** と言うと、「寝室が 15 室、広い庭にガレージは車 4 台分、さらにプール付き」などといった「豪邸」の意味です。日本で一般に「マンション」と呼ばれているものは、**condominium**（略して **condo**）です。

エンスト： **engine failure**

エンジン・ストップを短くしたものですが、**engine stop** と言うともうまく通じません。ちなみに、「ハンドル」= **steering wheel**、「バックミラー」= **rearview mirror**、「サイドブレーキ」= **parking brake** です。

### ガソリンスタンド：gas station

**stand** は普通「屋台」の意味で、**hot dog stand**、**newsstand** のように使います。ガソリンスタンドはこの他に **filling station**、**service station** とも言います。

### コンセント：outlet

**consent** には「同意、一致」といった意味はありますが、電気のコンセントを意味しません。他に **socket** とも言います。

### シュークリーム：cream puff

**shoe cream** と言うと「靴磨き用クリーム」のことになってしまいます。シュークリームの元はフランス語の **chou a la crème** (シュー・ア・ラ・クレーム) です。

### タレント：TV personality

**talent** は「**He's talented.**」 「彼は才能がある」というように「才能」の意味で使われます。「テレビタレント」は **TV personality**、「芸能タレント」は **entertainer** と言います。

DAY1 はここまでです。WEEK2 になるともうだいぶ慣れたと思いますが、いかがでしたか。明日から本格的な学習に入ります。

## EXCUSE ME. MR. SMITH?

山田さんは、受付に来ている外国のお客さんを会議室に案内するように言われました。



意味がすんなりわかるようになるまでダイアログを繰り返し聞きましょう。

ダイアログ  CD 1-15

- Yamada: Excuse me.  
Mr. Smith?
- Smith: Yes.
- Yamada: How do you do, Mr. Smith?  
I'm Yamada of the design section.
- Smith: Oh, nice to meet you.
- Yamada: Nice to meet you, too.  
This way, please.

## 訳

- 山田： すみません。  
          スミスさんですか。
- スミス： はい。
- 山田： 初めまして、スミスさん。  
          私、設計部の山田です。
- スミス： あ、よろしくお願ひします。
- 山田： こちらこそよろしくお願ひします。  
          こちらへどうぞ。



今日のフレーズ

ダイアログの重要フレーズです。覚えましょう。

## PHRASES



CD 1-16

**Excuse me.**

(声をかけるときなどに) すみませんが。

**How do you do?**

初めまして。

**Nice to meet you.**

お目にかかれて嬉しいです。

= 「よろしくお願ひします。」

**Happy (または Pleased, Glad) to meet you.** とも言います。**This way, please.**

(方向を指差して) こちらへどうぞ。

## ↑ 表現チェック

ビジネスの場にふさわしい適切な表現を身につけましょう。

### ■ 「すみません」と声をかけるときに **“Sorry.”**

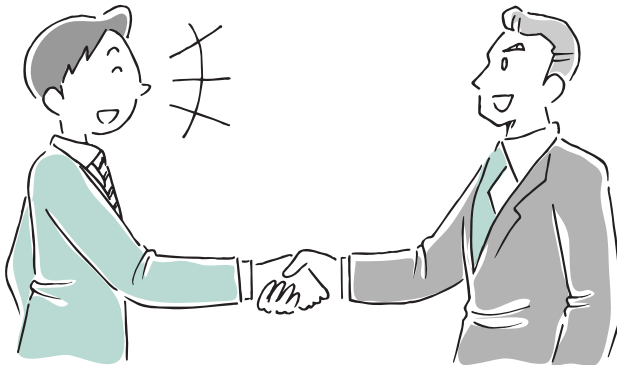
→ “Sorry.”には「自分が悪い」という意味があります。日本語では共に「すみません」ですが、**“Excuse me.”**と使い分けましょう。

### ■ 初対面の人に対して、**“Nice to see you.”**

→ 「初めて会う」という動詞は meet ですので、**“Nice to meet you.”**と言いましょう。二度目以降は see を使います。

### ■ 「こちらへどうぞ」と言うときに **“Come with me.”**

→ これでは「一緒に来い」という命令です。**“This way, please.”**と言いましょう。





## 聞く練習

## LISTEN TO IT

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

1.  CD 1-17

CDを聞いて ( ) の中に単語を入れてください。

**Yamada:** Excuse me.  
Mr. Smith?

**Smith:** ( ) .

**Yamada:** How do you do, Mr. Smith?  
I'm Yamada of the design section.

**Smith:** Oh, ( ) to ( ) you.

**Yamada:** Nice to meet you, too.  
This way, please.

2.  CD 1-18

CDを聞いてください。「〇〇です。よろしく」という英文が収録されています。聞こえた通りに、左の欄の名前と右の欄の挨拶を線で結んでください。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| a. I'm George Watson. | 1. Nice to meet you.    |
| b. I'm Paul Howard.   | 2. Happy to meet you.   |
| c. I'm Steven Clift.  | 3. Pleased to meet you. |

正解は P.43

1.  CD 1-19

CDがスミスさんのパートを言います。みなさんは山田さんのパートの一部を英語にして、会話の練習をしましょう。

**Yamada:** 「すみません」

Mr. Smith?

**Smith:** **Yes.**

**Yamada:** 「初めまして、スミスさん」

I'm Yamada of the design section.

**Smith:** **Oh, nice to meet you.**

**Yamada:** Nice to meet you, too.

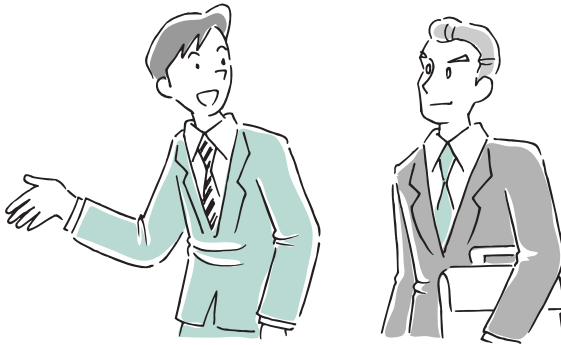
「こちらどうぞ」



2.  CD 1-20

今度は山田さんのパートが全部日本語になっています。同じように会話の練習をしましょう。

- Yamada:** すみません。  
スミスさんですか。
- Smith:** **Yes.**
- Yamada:** 初めまして、スミスさん。  
私は設計部の山田です。
- Smith:** **Oh, nice to meet you.**
- Yamada:** こちらこそよろしく。  
こちらへどうぞ。



## 「聞く練習」の正解

1. Yes, nice, meet
2. a. 2 b. 3 c. 1

## スコーンとスコーン

知人の体験談です。英語をかなり勉強していた彼は発音にも自信がありました。日本人が一般に苦手とする **r** の発音もきちんとできます。その彼が、英語の苦手な友人と二人でロンドンを訪れた時のこと。イギリスといえばアフタヌーンティーだということで、あるティールームに入りました。英語のできる彼が友人の分も注文することになり、友人が、この機会に「スコーン」というものを食べてみたいと言い出しました。

英語はできても料理関係の言葉にはうとい彼は、スコーンという食べ物があるということをそのときまで知りませんでした。メニューにも載っていなかったので、ウエーターに聞いてみることに。スコーンのスプリングは知りませんでしたが、「コーン」と伸ばすので“**r**”の音が入るものだと思い、

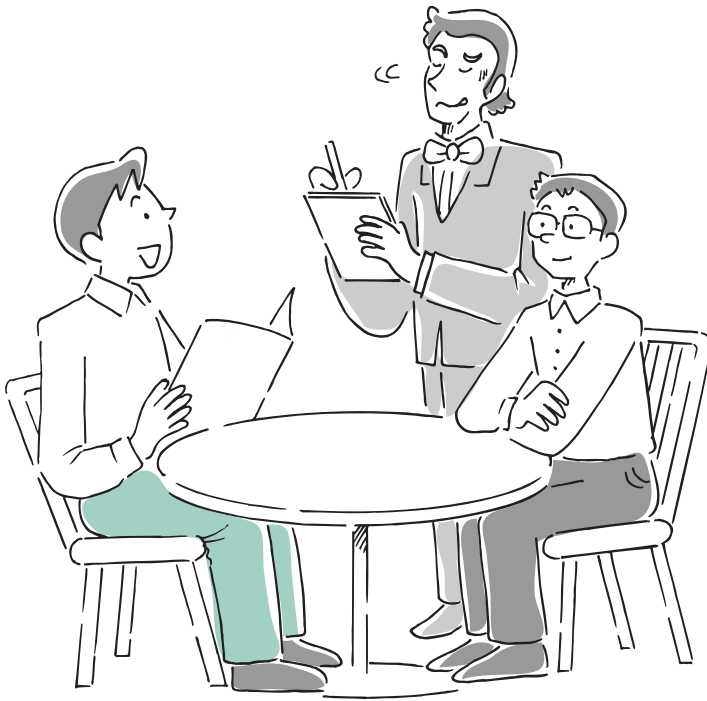
**“Do you have any scorn?”**

と尋ねると、ウエーターはげげんな顔。すこし沈黙があってから、ウエーターは

**“I know what you mean.”**

と言うと、少々あざけるような表情で去っていきました。

スコーンが運ばれてきて、アフタヌーンティーは楽しめたのですが、ウエーターの対応が気になった彼はホテルに戻ってから早速、辞書を調べてみました。すると、**scorn** はまさにウエーターが見せた表情の「あざける、嘲笑する」という意味。あの小麦粉でできたお菓子は **scone** だということがわかり、かえって **r** の発音が上手でなかったほうがよかったのではと考えてしまったそうです。





訳

山田： お先にどうぞ。  
 スミス： ありがとう。  
 3階に行くのですか。  
 山田： はい、そうです。

..... エレベーターを降りて会議室に着く .....

山田： こちらです。  
 どうぞおかけください。  
 スミス： どうもありがとう。



今日のフレーズ

ダイアログの重要フレーズです。覚えましょう。

PHRASES



CD 1-22

After you, please.	お先にどうぞ。
Here we are.	(到着したときに) さあ着きました、こちらです。
Please have a seat.	どうぞおかけください。



表現チェック

ビジネスに適切な表現を身につけましょう。

■ 「お先にどうぞ」と言うときに “*You, first.*”

➔ これでは命令調です。「私があなたの後です」という意味の “After you.” を使いましょう。

■ 椅子をすすめるときに “*Sit down.*”

➔ やはりこれも命令口調です。“Please have a seat.” あるいは “Please take a seat.” と言いましょう。

1.  CD 1-23

CDを聞いて ( ) の中に単語を入れてください。

Yamada: **After you, please.**

Smith: **Thank you.**

( ) ( ) **going to the**  
( ) ( ) ?

Yamada: **Yes.**

Yamada: **Here we are.**

**Please have a seat.**

Smith: **Thank you ( ) ( ).**

2.  CD 1-24

[ ] に示されている場所にお客さんを連れていく途中です。エレベーターの案内を見て、お客さんの質問に Yes か No で答えてください。

1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F
受付	総務課	経理課	営業 1 課	営業 2 課	会議室	食堂

- a. [営業 1 課] ..... Yes                  No
- b. [会議室] ..... Yes                        No
- c. [総務課] ..... Yes                        No

正解は右ページ 



## 話す練習

## SAY IT YOURSELF

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

1.  CD 1-25

CDがスミスさんのパートを言います。みなさんは山田さんのパートの一部を英語にして会話の練習をしましょう。

- Yamada: 「お先にどうぞ」  
 Smith: **Thank you.**  
**Are we going to the third floor?**  
 Yamada: Yes.

- Yamada: Here we are. 「どうぞおかけください」  
 Smith: **Thank you very much.**

2.  CD 1-26

今度は山田さんのパートが全部日本語になっています。同じように会話の練習をします。

- Yamada: お先にどうぞ。  
 Smith: **Thank you.**  
**Are we going to the third floor?**  
 Yamada: はい。

- Yamada: こちらです。どうぞおかけください。  
 Smith: **Thank you very much.**

## 「聞く練習」の正解

- Are we, third floor, very much
- a. Yes b. No c. No

<スクリプト>

- Are we going to the fourth floor?
- Are we going to the second floor?
- Are we going to the seventh floor?



## 長さ・広さ・重さ

度量衡の単位はいまだに国によってバラバラなので大変面倒です。

アメリカで「シカゴまであと 100 マイル」と言われても近いのか遠いのかがピンときません。かといって辞書などに載っている換算表を頼りにいちいち計算するのも面倒ですね。

そこで今回は身の回りの値がヤード・ポンド法でどうなるかを見てみましょう。身長・体重は自分に当てはまる数字に○を付けて覚えておきましょう。

**身長** 換算値：1 foot (フィート) = 12 inches  $\approx$  30 cm

1 inch (インチ) = 2.54 cm

センチ	155	160	165	170	175	180	185
フィート	5' 1"	5' 3"	5' 5"	5' 7"	5' 9"	5' 11"	6' 1"

読み方：5'6"=five feet six inches / five six

6'= six feet (foot の複数形は feet)

**体重** 換算値：1 lb (ポンド)  $\doteq$  0.45 kg

キロ	40	45	50	55	60	65	70
ポンド	88 lbs	99 lbs	110 lbs	121 lbs	132 lbs	143 lbs	154 lbs

読み方：99 lbs = ninety-nine pounds, 132 lbs = one thirty-two pounds

**距離** 換算値：1 mile (マイル)  $\doteq$  1.6 km

キロ	40	50	60	70	80	90	100
マイル	25 mi.	31 mi.	37 mi.	44 mi.	50 mi.	56 mi.	62 mi.

**面積** 換算値：1 square foot (平方フィート)  $\doteq$  0.03 坪

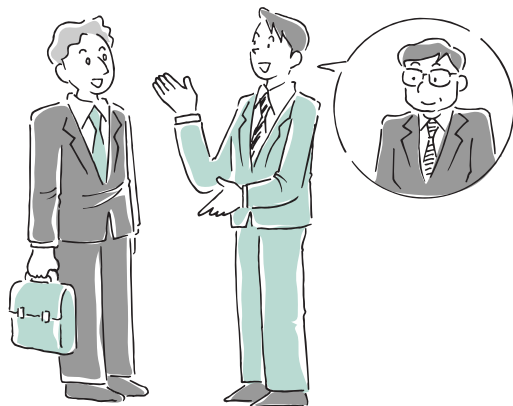
坪	20	30	40	50
平方フィート	712 sq.ft.	1067 sq.ft.	1,423 sq.ft.	1,779 sq.ft.

## VERY PLEASSED TO MEET YOU.

## チャレンジコーナー

## GIVE IT A TRY

山田さんは次にデイビスさんを会議室に案内します。



これまでの表現を少し変えたダイアログを注意して聞いてみましょう。

ダイアログ  CD 1-27

- Yamada: Excuse me. Are you Mr. Davis?  
 Davis: Yes, I am.  
 Yamada: How do you do, Mr. Davis?  
 I'm Yamada, Mr. Goto's assistant.  
 Davis: Well, nice to meet you.  
 Yamada: Very pleased to meet you, sir.  
 Our manager is waiting for you upstairs in  
 the conference room.  
 Would you come with me, please?  
 Davis: Oh, thank you.

## 理解度チェック

## MATCHING TEST

今まで学んだ表現を（ ）の指示に従って変えて言ってください。答えは左ページのダイアログの中から探してください。

1) Mr. Davis?

(同じ意味の表現) ➔

2) Nice to meet you.

(丁寧な表現) ➔

3) This way, please.

(同じ意味の表現) ➔

正解は P.55

CD を聞いて英文をレポートしてください。

## EXPRESSIONS CD 1-28

### ■ Are you Mr. Davis?

単に **Mr. Davis?** と尋ねるよりも丁寧な言い方です。

### ■ I'm Yamada, Mr. Goto's assistant.

役職・肩書などは名前の後にそのまま続けて言います。

**He's Mr. Suzuki, the president of this company.**

「彼は社長の鈴木です」

### ■ Very nice (pleased) to meet you, sir.

最後に **sir** を付けることで、相手の男性に対する敬意を表すことができます。

相手が女性るときには **ma'am** です。間違えないようにしましょう。

**Excuse me, ma'am. Are you Ms. Jackson?**

「失礼ですが、ジャクソン様でいらっしゃいますか」

### ■ Our manager is waiting for you upstairs in the conference room.

**wait for...**は「…を待つ」という意味です。また、「上（の階）で、に」は **upstairs** 一語で表すことができます。

**I'm waiting for a bus.** 「私はバスを待っています」

**There's a restaurant upstairs.** 「上にレストランがあります」

### ■ Would you come with me, please?

**Would you..., please?** は丁寧に頼むときの表現です。

**Would you wait here, please?** 「ここでお待ち頂けますか」

## チャレンジコーナー・ダイアログ訳

- 山田： すみません。デイビスさんですか。
- デイビス： はい、そうです。
- 山田： 初めまして、デイビスさん。  
私は後藤のアシスタントの山田です。
- デイビス： ああ、よろしくお願いします。
- 山田： よろしくお願ひします。  
課長が上の会議室で待っております。  
こちらへいらして頂けますか。
- デイビス： ああ、ありがとう。



## 「理解度チェック」の正解

- 1) Are you Mr. Davis?
- 2) Very pleased to meet you, sir.
- 3) Would you come with me, please?



## お役立ち表現

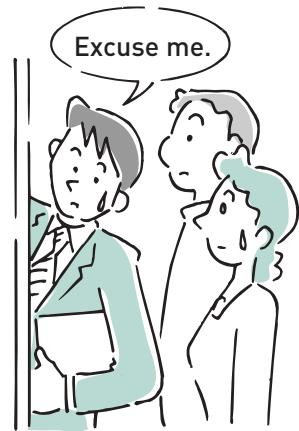
いざという時に役に立つコンパクトな表現を集めました。さまざまな場面で使ってみましょう。

### Excuse me./Excuse me?

いろいろな場面に使います。



狭い所を通るとき



話を聞き返すとき  
(イントネーションは尻上がり調)



## Please.

言い方によっていろいろな意味を表すことができます。

お願いをするとき



何かをあげるとき

制止するとき



## This way. / That way.

方向を示すときに便利です。



「こちらに来てください。」

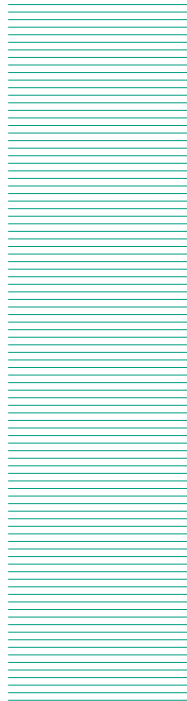


「あちらに行ってください。」



## Meeting Visitors at the Hotel

ホテルに出迎えに行くには



## Meeting Visitors at the Hotel

ホテルに出迎えに行くには

**Q** 上司から、ホテルに宿泊している外国のお客さんを迎えに行き、会社まで案内するよう言いつかりました。ホテルに着いたあなたはどのようにしますか？

1



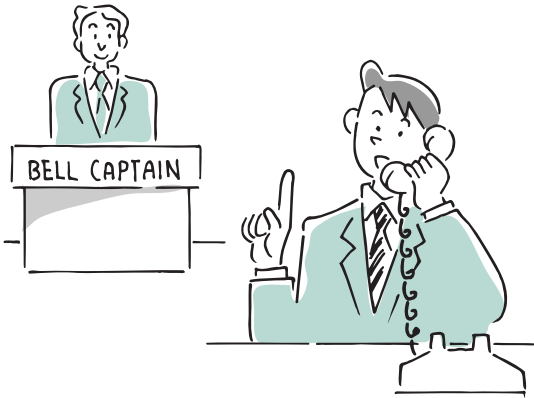
直接部屋を訪ねる。

2



「ロビーにいます」と内線して、ロビーで待つ。

3



「〇〇にいます」と内線して、指定した場所で待つ。

さてその結果どうなるでしょう

WEEK 1

WEEK 2

WEEK 3

WEEK 4

# A

それでは相手の反応を見てみましょう。

1



「なんと失礼な!!」  
これは論外。

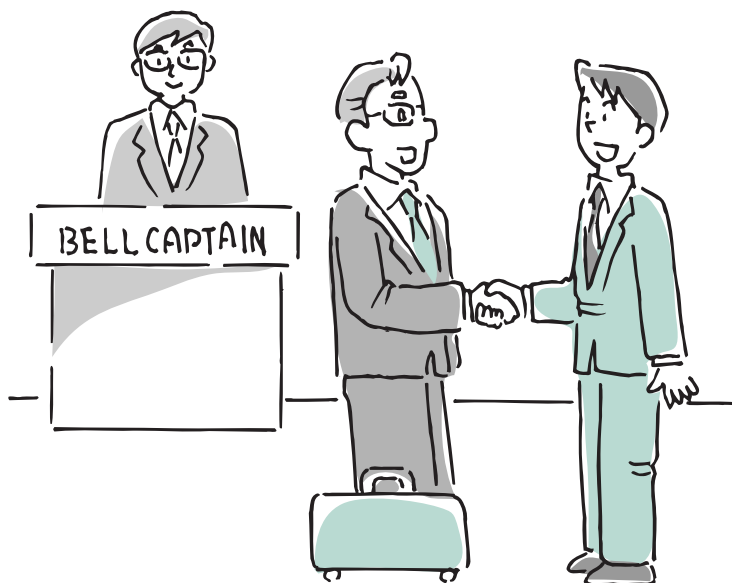
2



「ロビーには同じような  
顔ばかりで、誰に会えばいいか  
わからない。」

## 3

「お待たせしました。  
お出迎えありがとうございます。」



相手の外国人は日本には不慣れな場合があるため、待ち合わせがうまくいかないと不安になるかも知れません。さほど広くないロビーであっても、きちんと場所を指定することが大切です。

---

# POP QUIZ

語彙を増やすための簡単なクイズです

英語のことわざには、日本のことわざと同じようなものがあります。次にあげる英語のことわざはどういう意味でしょうか。同じような意味の日本語のことわざを考えてみましょう。

## Q

1. Seeing is believing.
2. Easy come, easy go.
3. No pain, no gain.
4. Penny wise and pound foolish.
5. Better safe than sorry.
6. All is well that ends well.





## A

## 1. 「百聞は一見にしかず」

英語を訳すと、「見ることは信じること」となります。英語でもやはり「見る（経験する）」ことが第一なのですね。

## 2. 「悪銭身につかず」

「悪い」と **easy** は多少ニュアンスが違うので、英語のほうが汎用性がありそうです。

## 3. 「虎穴に入らずんば虎兇を得ず」

英語のほうがすっきりしていますね。 **p** と **g** が違うだけでその他は発音も含めて左右揃っていて、見事に韻を踏んでいます。

## 4. 「安物買いの銭失い」

ご存知の通り **penny, pound** とモイギリスの貨幣単位です。日本でも「銭」を使っているところが共通しています。

## 5. 「後悔先に立たず」

**safe** と **sorry** が **S** で韻を踏んでいて言いやすくなっています。

## 6. 「終わり良ければすべて良し」

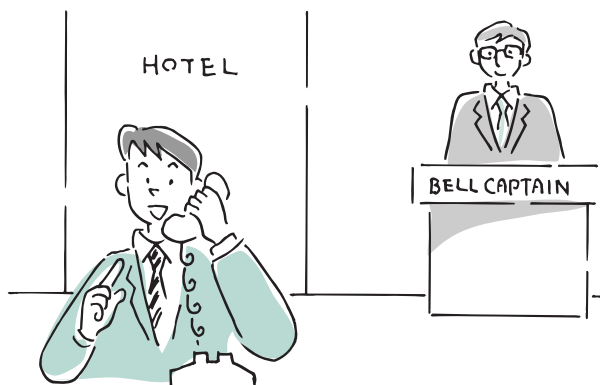
不思議なくらい同じ表現をします。文法的には **All that ends well is well.** のほうが正確ですが、前半と後半で韻を踏んでリズムが良くなっています。

いずれも短く簡単なことわざなので、できれば覚えておきましょう。ここぞという時に使うと、効果的な英語表現ができます。

DAY1 の学習はここまでです。明日から本格的に勉強していきます。

## I'M HERE TO MEET YOU.

山田さんは、丸の内のホテルに宿泊しているホワイトさんを迎えに行き会社までお連れするように言いつかりました。ホテルに着いた山田さんはロビーから館内電話でホワイトさん呼びます。



意味がすんわりわかるようになるまでダイアログを繰り返し聞きましょう。

ダイアログ  CD 1-29

- Yamada: Hello.  
Is this Mr. White's room?
- White: Yes, it is.
- Yamada: This is Yamada from TTI.  
I'm here to meet you.
- White: Where are you now?
- Yamada: I'm at the bell captain's counter.
- White: OK. I'll be down in a minute.





## 話す練習

## SAY IT YOURSELF

WEEK 1

WEEK 2

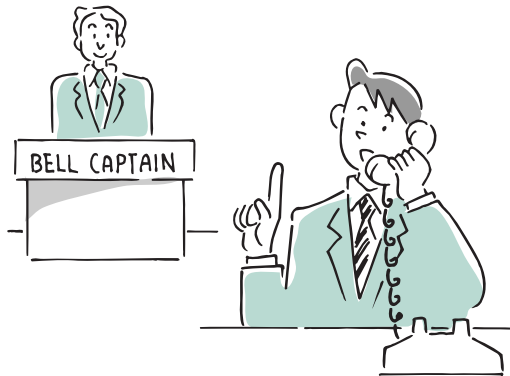
WEEK 3

WEEK 4

1.  CD 1-33

CDがホワイトさんのパートを言います。みなさんは山田さんのパートの一部を英語にして、会話の練習をしましょう。

- Yamada:** Hello?  
「ホワイトさんのお部屋ですか」
- White:** **Yes, it is.**
- Yamada:** 「TTIの山田です」  
I'm here to meet you.
- White:** **Where are you now?**
- Yamada:** I'm at 「ベルキャプテンのカウンター」
- White:** **OK. I'll be down in a minute.**



## 2. CD 1-34

今度は山田さんのパートが全部日本語になっています。同じように会話の練習をします。

**Yamada:**       もしもし。  
                      ホワイトさんのお部屋ですか。

**White:**         **Yes, it is.**

**Yamada:**       TTI の山田です。  
                      お迎えに上がりました。

**White:**         **Where are you now?**

**Yamada:**       ベルキャプテンのカウンターにいます。

**White:**         **OK. I'll be down in a minute.**

### 「聞く練習」の正解

1. it is, Where, I'll, down, minute
2. Mr. Suzuki — by the big clock  
   Mr. Sasaki — in front of the elevator  
   Mr. Hayashi — at the bell captain's counter

<スクリプト>

- Where are you, Mr. Suzuki?
- I'm by the big clock.
- Where are you, Mr. Sasaki?
- I'm in front of the elevator.
- Where are you, Mr. Hayashi?
- I'm at the bell captain's counter.

英語  
こぼれ話

## 時間ある？

知り合いのビジネスウーマンの話です。英語がそこそこできる彼女。そのためニューヨークへの出張を会社から任されました。現地で仕事のほうは難なくこなし、空いた時間に一人で五番街を歩いていたときのことです。向こうからやって来た男性からすれ違いざまに声をかけられました。

**"Do you have the time?"**

「時間ありますか。」なんて、こんなところでナンパされてしまったと思ひ、

**"I'm busy now."**

ととっさに答えたら、男性はきょとんとした顔をしてそのまま行ってしまいました。

歩きながら、男性の不可解そうな表情を思い浮かべているうちに、はたと気づきました。

なんのことはない、**"Do you have the time?"** は、「時計を持っていますか」、つまり「今、何時ですか」という質問だったのです。

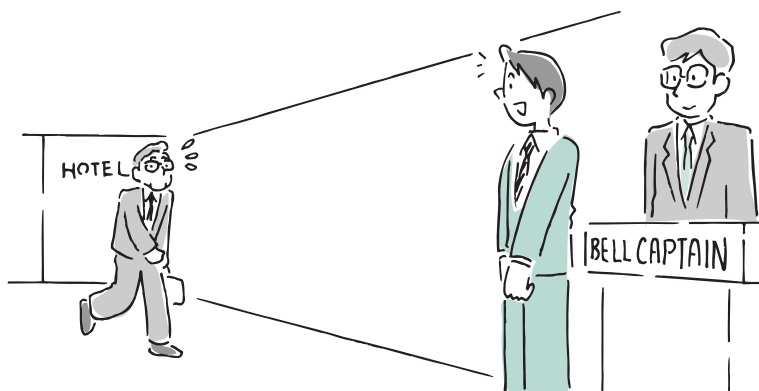
「時間がありますか」、と言う場合は **"Do you have time?"**

たしかにまぎらわしいですね。



## SHALL WE GO?

しかしホワイトさんは20分たっても現れません。「どうしたんだろう」と思っているところに、向こうから早足でそれらしい人がやって来ました。



意味がすんなりわかるようになるまでダイアログを繰り返し聞きましょう。

ダイアログ  CD 1-35

- White: Are you Mr. Yamada?  
 Yamada: Yes. Mr. White?  
 White: Yes. I'm terribly sorry.  
 I had a call from the States.  
 Yamada: No problem.  
 White: Are we going to be late?  
 Yamada: No. We have plenty of time.  
 Shall we go?



## 訳

- ホワイト： 山田さんですか。  
 山田： ええ、ホワイトさんですか。  
 ホワイト： はい。本当に申し訳ありません。  
 アメリカから電話が入りまして。  
 山田： いいえ、いいんですよ。  
 ホワイト： 私たちは遅刻でしょうか。  
 山田： いいえ。時間はたくさんあります。  
 さて、行きましょうか。



今日のフレーズ

ダイアログの重要フレーズです。覚えましょう。

## PHRASES



CD 1-36

- I'm terribly sorry.** 誠に申し訳ございません。  
 (I'm sorry. よりもっと申し訳ない気持ちを表す。)
- have a call** 電話を受ける、電話が入る  
**the States** アメリカ合衆国  
**No problem.** 結構ですよ。  
**plenty of** たくさんの  
**Shall we go?** 出発しましょう。



## 表現チェック

ビジネスに適切な表現を身につけましょう。

### ■出発するときに“Let’s go.”

- 親しい関係の人にはこれでもいいですが、「まいりましょう」という丁寧なニュアンスはありません。“Shall we go?” とすぐに言えるようにしておきましょう。





1.  CD 1-39

CDがホワイトさんのパートを言います。みなさんは山田さんのパートの一部を英語にして、会話の練習をしましょう。

- White: **Are you Mr. Yamada?**  
 Yamada: Yes. 「ホワイトさんですか」  
 White: **Yes. I'm terribly sorry.**  
**I had a call from the States.**  
 Yamada: 「いいえ、いいんですよ」  
 White: **Are we going to be late?**  
 Yamada: No. We have plenty of time.  
 「さて、行きましょうか」

2.  CD 1-40

今回は山田さんのパートが全部日本語になっています。同じように会話の練習をします。

- White: **Are you Mr. Yamada?**  
 Yamada: はい。ホワイトさんですか  
 White: **Yes. I'm terribly sorry.**  
**I had a call from the States.**  
 Yamada: いいえ、いいんですよ。  
 White: **Are we going to be late?**  
 Yamada: いいえ。時間はたくさんあります。  
 さて、行きましょうか。

## 「聞く練習」の正解

1. Are, terribly, had, States, late    2. A. 2, B. 1, C. 3

英語  
ひとくち  
メモ

## 数字に強くなる

数字は3桁ずつに区切ってコンマを付けますが、それは英語の数字の呼び方に関係があります。日本語は4桁の単位で区切って読みますから、初めはピンときませんね。

まずは基本的な3桁の読み方です。

<u>1</u>	<u>2 3</u>
hundred	普通の読み方
one hundred (and) twenty-three	

それでは大きな数字を読んでみましょう。読み方は、

- ① 3桁ずつは前ページの要領で読み、
- ② コンマのところでそれぞれの単位を加えます。

次の数字を読んでみてください。

123,456,789,876

↑      ↑      ↑

billion million thousand

のコンマ のコンマ のコンマ

〈答え〉

one hundred (and) twenty-three **billion**  
four hundred (and) fifty-six **million**  
seven hundred (and) eighty-nine **thousand**  
eight hundred (and) seventy-six

となります。

日本語との対照です。少しずつ慣れてください。

1万	= 10 thousand	= ten thousand
10万	= 100 thousand	= one hundred thousand
100万	= 1 million	= one million
1000万	= 10 million	= ten million
1億	= 100 million	= one hundred million
10億	= 1 billion	= one billion



## I HAVE A CAR WAITING FOR YOU.

## チャレンジコーナー

## GIVE IT A TRY

山田さんはホテルのロビーで待っているスティーブソンさんを迎えに行きました。



これまでの表現を少し変えたダイアログを注意して聞きましょう。



ダイアログ



CD 1-41

- Yamada: Excuse me, sir.  
Do you happen to be Mr. Stevenson from Teck-in Foods?
- Stevenson: Yes.
- Yamada: I'm Yamada from TTI.  
I'm here to accompany you to our office.
- Stevenson: Oh, I'd appreciate that.
- Yamada: Don't mention it.  
I have a car waiting for you.
- Stevenson: That's very kind of you.



## 理解度チェック

## MATCHING TEST

今まで学んだ表現を( )の指示に従って変えて言ってください。  
答えは左ページのダイアログの中から探してください。

1) Are you Mr. Stevenson?

(同じ意味の表現) ➡

2) Thank you.

(似た意味の丁寧な表現) ➡

3) Thank you.

(これに対する受け答えの表現) ➡

正解は P.83

CD を聞いて英文をリピートしてください。

## EXPRESSIONS CD 1-42

### ■ Do you happen to be Mr. Stevenson?

相手がその人であるかどうか確信が持てないときの表現です。happen to は「たまたま…する」という意味です。

**Do you happen to know Mr. Fern?** 「ひょっとしてファーンさんをご存じですか」

### ■ I'm here to accompany you to our office.

accompany は「同行する」という意味です。「あなたを our office に accompany する」つまり「会社までご案内する」ということです。

### ■ I'd appreciate it.

お礼を述べる表現ですが、Thank you. よりも丁寧です。I'd = I would の省略形です。

### ■ Don't mention it.

お礼を言われたときに、「どういたしまして」という意味です。

他に **"You're welcome."** **"Anytime."** **"Not at all."** とも言います。また親しい間柄では **"Thanks."** **"Sure."** というやりとりも聞かれます。

### ■ I have a car waiting for you.

直訳すると「あなたを待っている車を、私は持っている」ということですから、「車を待たせてある」という決まり文句になります。

### ■ That's very kind of you.

これもお礼の気持ちを表す言い方です。何かをしてもらったときに使います。

チャレンジコーナー・ダイアログ訳

- 山田： 失礼ですが、テックイン・フーズのステイブ  
ンソンさんでいらっしゃいますか。
- ステイブンソン： はい。
- 山田： 私、TTIの山田です。  
私どもの会社までご案内いたします。
- ステイブンソン： それはどうも恐れ入ります。
- 山田： どういたしまして。  
車を待たせてあります。
- ステイブンソン： それはご親切にありがとう。



「理解度チェック」の正解

- 1) Do you happen to be Mr. Stevenson?
- 2) I'd appreciate that (it).
- 3) Don't mention it.



## お役立ち表現

いざという時に役に立つコンパクトな表現を集めました。さまざまな場面で使ってみましょう。

### No problem.

直訳すると「問題なし」ですが、「OK.」のようにいろいろな場面で使えます。



お礼を言われたとき



「大丈夫」と言うとき

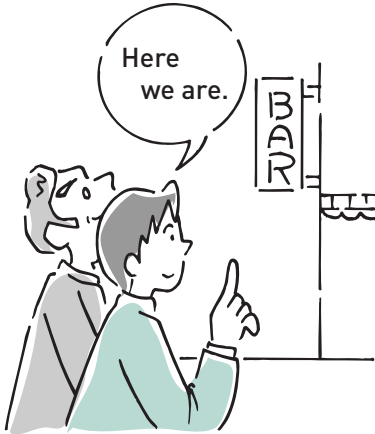
## Here

here を使った決まり文句を覚えましょう。

物を差し出すとき



Here we are.



目的地に着いたとき

You are here.



地図で現在位置を示すとき

## Shall we...?

人を誘うときの表現です。



食べるとき



Let's go to see the movie,  
shall we?

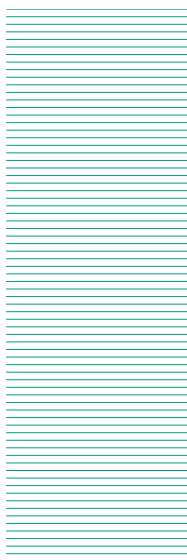


Let's...の文につなげて

WEEK  
4

## マンスリーテストを解こう

これまでに学んだ項目をチェックするための問題です。  
すべて **CD** を聞きながら解答する問題です。  
各日の解答はすべて **Unit 1** 用のマークカードに記入して、  
返信用封筒に入れて郵送してください。



## マンスリーテスト

※解答はマークカードにマークします

A.  CD 1-43~46

## 設問 1~4

イラストを見ながらCDを聞いてください。相手の言っていることへの受け答えとして適切なものをそれぞれ①~④の選択肢から選んでください。

1.



- ① Yes. May I ask you?
- ② Yes. May I help you?
- ③ Yes. I can help you.
- ④ Yes. I can hear you.

2.



- ① Yes, you can speak.
- ② I can speak to her.
- ③ She's out right now.
- ④ Yes, she is here.



3.



- Ⓐ Just a moment, please.
- Ⓑ Mr. Shimizu wants to see you.
- Ⓒ Mr. Shimizu is out right now.
- Ⓓ May I help you?

4.



- Ⓐ Hold it, please.
- Ⓑ Take it, please.
- Ⓒ Keep on, please.
- Ⓓ Hold on, please.

**B.**  **CD 1-47~48**

**設問 5~10**

CDを聞いてください。山田さんが国際電話に対応しています。山田さんの話している場面を表すイラストを順番に3つ選んでください。問題はシーン1とシーン2の2題あります。解答は、シーン1は設問5~7、シーン2は設問8~10の①~⑨をそれぞれ順番にマークしてください。※イラストは両方で使うものや、どちらにも使わないものがあります。

**スタート**





設問 5 ~ 7

[シーン 1]

スタート



5. a b c d e f g



6. a b c d e f g



7. a b c d e f g

設問 8 ~ 10

[シーン 2]

スタート



8. a b c d e f g



9. a b c d e f g



10. a b c d e f g

## マンスリーテスト

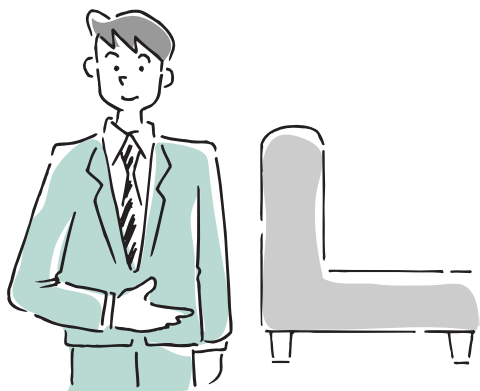
※解答はマークカードにマークします

A.  CD 1-49~52

## 設問 11~14

CDを聞いてください。各設問で、山田さんが外国のお客さんに話しかけています。その内容に合ったイラストを、それぞれ①~④の中から選んでください。

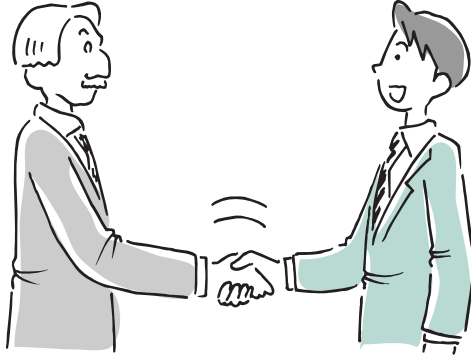
①



②



c



d



11. a b c d

12. a b c d

13. a b c d

14. a b c d

**B.**  **CD 1-53**

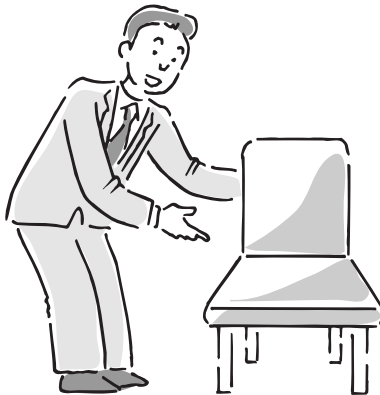
**設問 15～19**

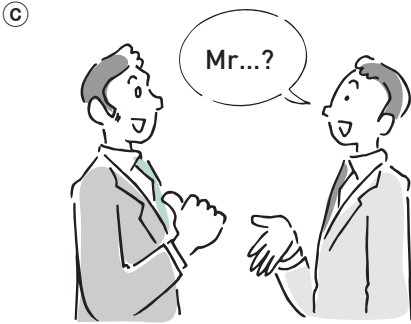
CDを聞いてください。斉藤さんが外国のお客さんを受付で出迎え、会議室に案内するまでの会話が収録されています。次の5つのイラストを斉藤さんの発言に沿って話の順序に並べ換えてください。解答は順番に設問15～19の①～⑤いずれかをマークしてください。

①



②





15. a b c d e



16. a b c d e



17. a b c d e



18. a b c d e



19. a b c d e

## マンスリーテスト

※解答はマークカードにマークします

A.  CD 1-54~57

## 設問 20～23

イラストを見ながらCDを聞いてください。田中さんが外国のお客さんをホテルに迎えに行きました。それぞれの問いかけに対する受け答えとして適切なものを右ページの①～⑨の選択肢から選んでください。

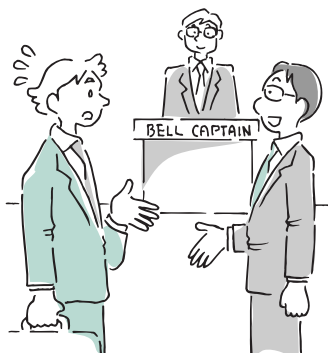
20.



21.



22.



23.





〈選択肢〉

- Ⓐ No problem.
- Ⓑ OK.
- Ⓒ I don't know.
- Ⓓ Yes, I am.
- Ⓔ Yes, it is.
- Ⓕ I'm here.
- Ⓖ I'm at the bell captain's counter.

20. Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ

21. Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ

22. Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ

23. Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ

**B.**  **CD 1-58**

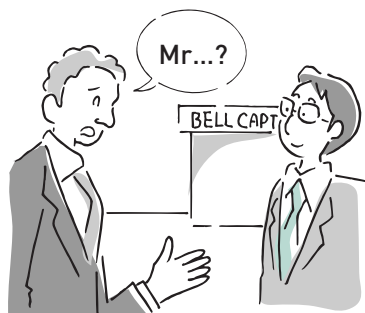
**設問 24～29**

CDを聞いてください。田中さんが外国のお客さんをホテルに迎えに行ったときの会話が収録されています。次の6つのイラストを話の順序に並べ換えてください。解答は順番に設問24～29の①～⑥いずれかをマークしてください。

①



②



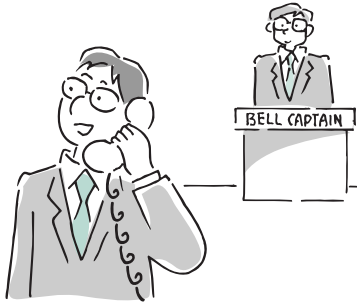
③



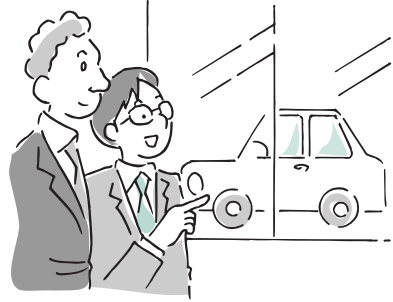
④



e



f



24. a b c d e f



25. a b c d e f



26. a b c d e f



27. a b c d e f



28. a b c d e f



29. a b c d e f

## マンスリーテスト

※解答はマークカードにマークします

A.  CD 1-59~64

## 設問 30～35

CDを聞いてください。「初めまして、〇〇さん。△△が□□号室でお待ちしております」という英文が収録されていますので、会う人と部屋の番号の正しい組み合わせを①～④の中からひとつ選んでください。

<u>会いに来た人</u>	<u>会う人</u>	<u>部屋の番号</u>
30. Mr. Johnson	① Ms. Sato	Room 196
	② Ms. Eda	Room 176
	③ Mr. Endo	Room 156
	④ Ms. Iida	Room 276
31. Mr. White	① Mr. Takayama	Room 254
	② Mr. Nakayama	Room 145
	③ Mr. Nakajima	Room 245
	④ Mr. Uejima	Room 345
32. Miss Orkin	① Mr. Takayama	Room 388
	② Mr. Nakajima	Room 368
	③ Mr. Nakayama	Room 368
	④ Mr. Okayama	Room 388

- |                   |              |          |
|-------------------|--------------|----------|
| 33. Mr. Stevenson | Ⓐ Ms. Eda    | Room 398 |
|                   | Ⓑ Ms. Sato   | Room 348 |
|                   | Ⓒ Ms. Sasaki | Room 348 |
|                   | Ⓓ Ms. Suzuki | Room 398 |
| 34. Ms. Green     | Ⓐ Mr. Nakai  | Room 245 |
|                   | Ⓑ Mr. Kamei  | Room 254 |
|                   | Ⓒ Mr. Kanai  | Room 254 |
|                   | Ⓓ Mr. Suzuki | Room 245 |
| 35. Mr. Bell      | Ⓐ Mr. Sato   | Room 196 |
|                   | Ⓑ Mr. Endo   | Room 176 |
|                   | Ⓒ Mr. Kato   | Room 196 |
|                   | Ⓓ Ms. Eda    | Room 176 |

**B.**  **CD 1-65~67**

**設問 36～38**

館内電話をしてロビーで待ち合わせる会話が収録されています。「誰が」「誰と」「どこで」待ち合わせているかを聞き取り、正しい組み合わせを①～⑥の中からひとつ選んでください。

	<u>誰が</u>	<u>誰と</u>	<u>どこで</u>
36. Mr. Ikeda	①	Mr. Johnson	At the bell captain's counter
	②	Mr. Johnson	In front of the elevator
	③	Mr. Jason	At the bell captain's counter
	④	Mr. Jason	In front of the elevator
	⑤	Mr. Jackson	At the bell captain's counter
	⑥	Mr. Jackson	By the big clock
37. Mr. Okita	①	Mr. Johnson	By the big clock
	②	Mr. Johnson	In front of the elevator
	③	Mr. Jason	At the bell captain's counter
	④	Mr. Jason	In front of the elevator
	⑤	Mr. Jackson	At the bell captain's counter
	⑥	Mr. Jackson	In front of the elevator
38. Mr. Yasuda	①	Mr. Johnson	By the big clock
	②	Mr. Johnson	In front of the elevator
	③	Mr. Jason	By the big clock
	④	Mr. Jason	In front of the elevator
	⑤	Mr. Jackson	By the big clock
	⑥	Mr. Jackson	In front of the elevator

これで UNIT 1 マンスリーテストは終了です